別子住友銅山争議　八十日　小型自動車争議　四十日　日本楽器争議　七十日　明治製菓争議　三十日　共同印刷争議　三、一日　高田染色工場争議　五十日　櫻田工場争議　六十日　豊田織機争議　九十日　東京蠟子争議　五十日。以上の如き争議日数を見る時に一度戦闘開始せんとする時は、第一條件として持久力の準備が整備されて居らねばならぬ。即ち戦闘資力の必要が基礎的條件である。

▼日本労働総同盟関東醸造労働組合

吾が総同盟所属の関東醸造労働組合は嘗て問題の起るや数回或は争議戦に或は戦ずして常に大勝利を以つて解決した。それを誇りとして居ることは勿論団結力と統制の充実は論を待たぬが殊に強大なる戦闘基金積立てられて居るからである。今組合は毎月組合員に対して戦闘基金を定額的に（一ヶ月金弐圓以上）新規加入金を以つて積立を実行してゐる。目下此の戦闘基金が積り積つて四拾萬圓に近い大基金になつて居ると云ふことである。

▼最近京浜地方の資本の状勢

最近京浜地方に於ける資本家階級は地方聯盟を劃策し一名六御会なるものを組織し吾々に挑戦してゐるのみである。果して六御会は如何なる理由を以つて作られたかをたゞせば即ち昨年明菓争議を以つて動機とされてゐる。当時明菓争議に就て神奈川県会会が主体となさんとするや、聯合会所属六千の組合員は奮然と立ち物質的に精神的に極力応援し必勝を期すべく決心をした。此の組織的戦力は京浜間に散在せる資本家階級に一大恐威を与へた。而して彼等は労働者の此の充実されたる組織に慄然とし利害関係の一致する工場に在る彼等は遂に被榨取者に対する対陣をなすべく六御會の組織を見るに至つたのである。見よ。最近の六御會を。如何に彼等が巧利的に欺瞞政策に依つて計劃的に榨取を行はんとしつゝあるか。過般彼等に依つて計劃されたる修養団の如きは如何に欺瞞的組合圧迫の手段であるかを雄弁に物語るものである。

▼戦争の実施すべき條件

斯くして彼等は益々相互利益を擁護せんとして吾等に弾圧を下しつゝあるがそれは単なる京浜間の一例に過ぎぬが資本主義行詰りの必然性の表れとして見ることが出来る。故に将来の労資戦は大規模にして且つ急々深刻化することを確信する。我等は経済的闘争の実力即ち財政的基礎の確立に急がねばならぬ。茲に於て吾が神奈川鉄工組合本年度大会は此の意味に於て第八回に亘つて（四月九日）金弐拾銭の定期的戦闘基金積立の実施を満場一致を以つて可決したのである。苟も健実なる吾が神奈川鉄工組合の一員たる以上は大會の決議を遵守する義務を有する。吾等の陣営を強固ならしめ為に労働條件改善の促進に資する為めに組合員諸氏は奮つて弐拾銭の争議基金を積立られよ。金額は如何に僅少であつても吾々の為めには重大なると思惟するものである。希くば一箇の数点を節約されて自己の為に備へられんことを望む。

▼基金保管及使用方法

本基金の保管方法は之を特別会計として本部会計が之を保管することになつて居る。更に使用方法は理事会議或は大會の決議を経るにあらざれば使用することは出来ぬ様になつて居るのである。

一九二七。